

ほとんどです。それを現場の上司から部下に対し口頭でしか伝えられないと言う誤解があり、それらを無くする事に苦労しました。また、それぞれの職人さんや建材屋さんの動きの能率はコストに直結します。だから現場監督が指示を間違えると、その人達の生活を脅かす事になります。実は我々建設業の工事現場の難しさと面白さはそこにあります。いわゆる現場の段取りですね。そのノウハウを整理して活用するツールを全社で共有することで、社内を形作ってきた事がこれまで苦労してきた点です。また、そのツールを形作ってきた事がこれまで苦労或いは現場のチーム全員がどこをどうすればいいのか、どこに力を入れれば良いのかがわかります。さらに問題点もいろんな目で発見できます。それが現場監督自身の足りない点や長所を伸ばす目標につながる可能性もあって、作業する全ての人のモチベーションを高める事になれば良いと考えています。



表 山本 素晴らしいですね。
実は、以前当社が行なつていた公共事業で、現場担当者が引き渡し目前に工事仕様の欠陥を見つけてしまい、結果的にその欠陥はますますひどくなる事が判りました。指定された仕様や工期の事もあつて発注者共々、頭を抱えましたが、思い切つて工事をやり直しました。周囲を巻き込んで、大変な迷惑と大きな欠損を抱える事になりましたが何とか工期内に終える事が出来ました。工事担当者も必死でしたが、その時に感じたことは人間やればなんでもできるという事でしようか。もう二度としたくはありませんが、肝心なのはダメなことはダメと言える

表 山本 さすがですね。
そんな事はありませんが、まず各現場で起こっている事は出来るだけ把握しなければなりませんので、父の時代から毎朝7時20分から建築・土木・営業・設計・資材の各責任者とミーティングをしています。そこで、工事工程や各々の抱えている問題などを報告しており、必要なら従業員の細かい家庭事情なども聴きます。ますますひどくなる事が判りました。指定された仕様や工期の事もあつて発注者共々、頭を抱えましたが、思い切つて工事をやり直しました。周囲を巻き込んで、大変な迷惑と大きな欠損を抱える事になりましたが何とか工期内に終える事が出来ました。工事担当者も必死でしたが、その時に感じたことは人間やればなんでもできるという事でしようか。もう二度としたくはありませんが、肝心なのはダメなことはダメと言える